

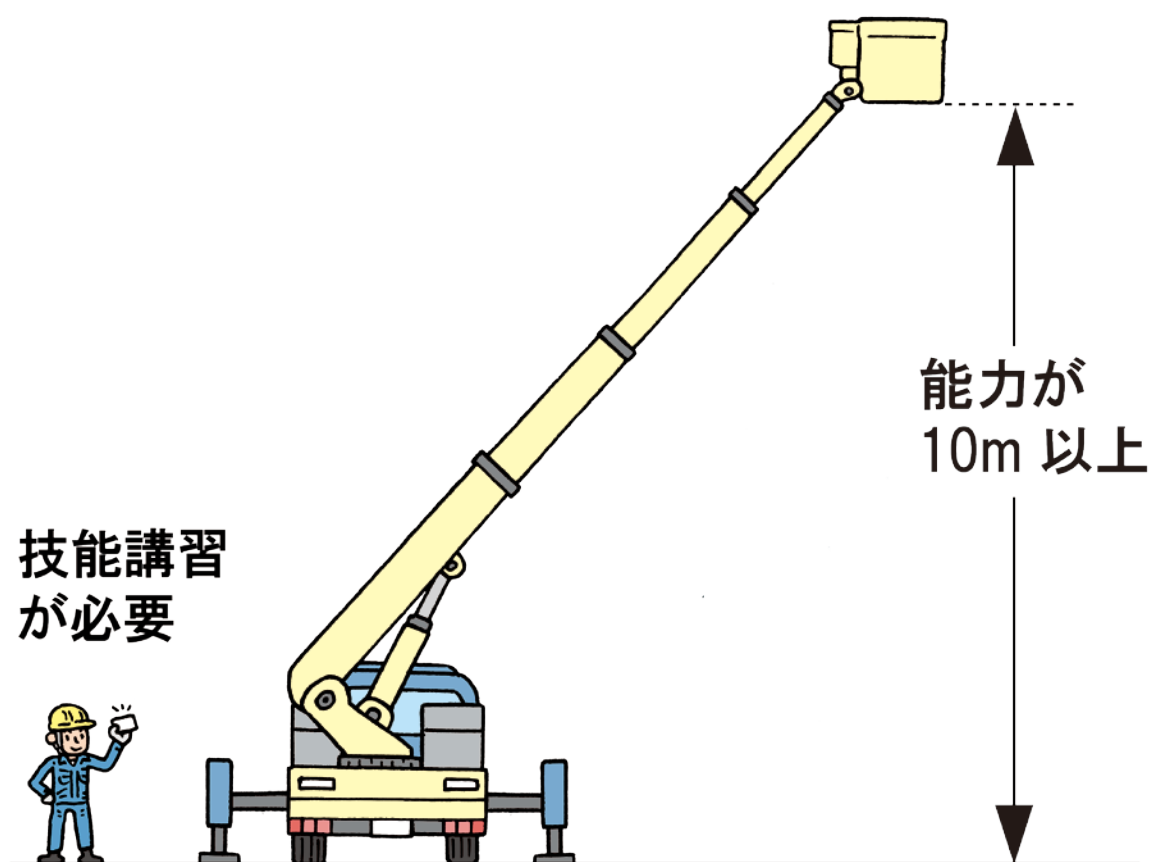


『電気通信業務』

安全衛生のポイント

高所作業車

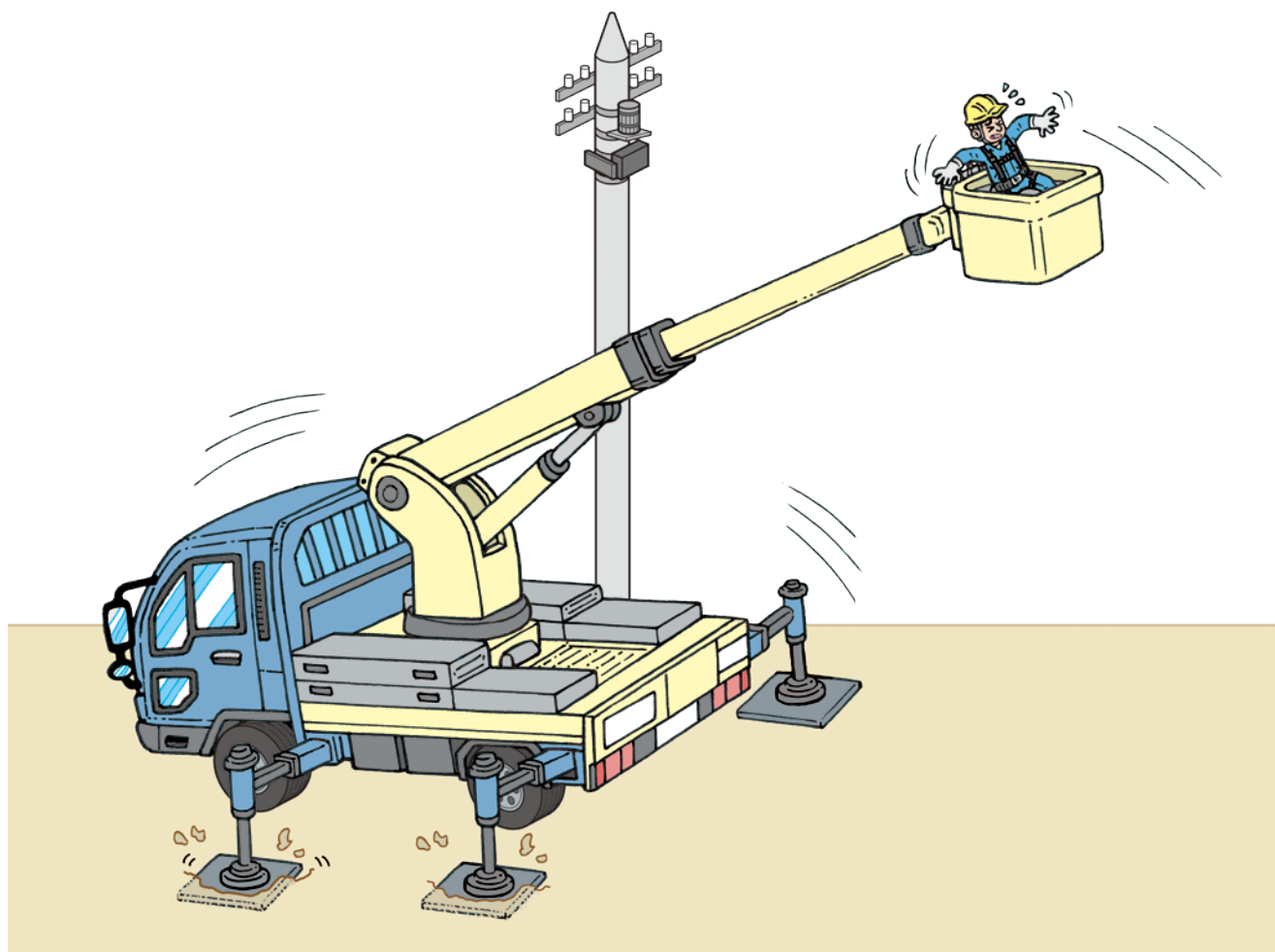
(1) 運転資格



高所作業車の運転には次の資格が必要です。

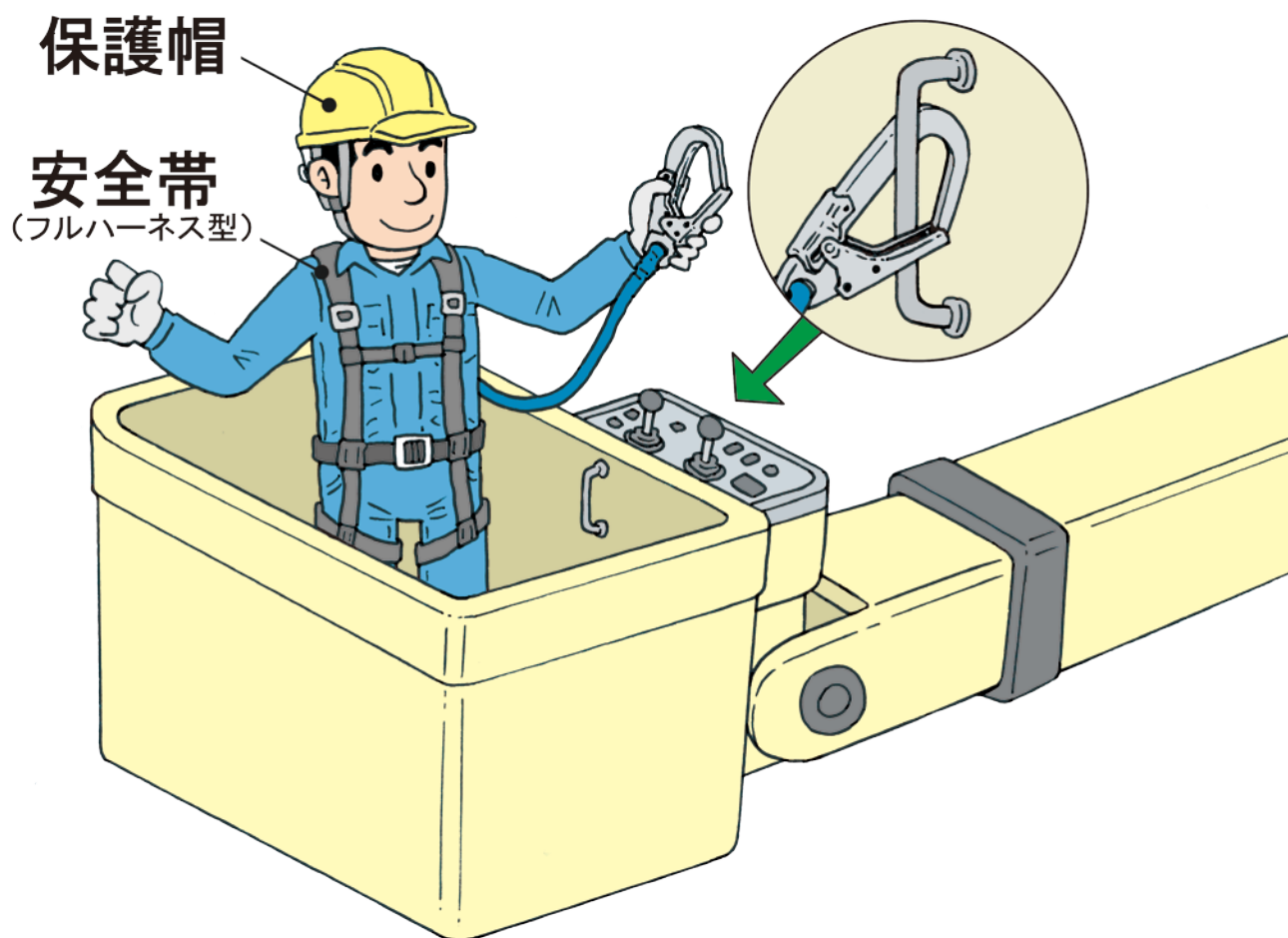
	技能講習	特別教育
作業床の高さが 10m 以上	○	
作業床の高さが 10m 未満	○	○

(2) 軟弱な地盤での注意



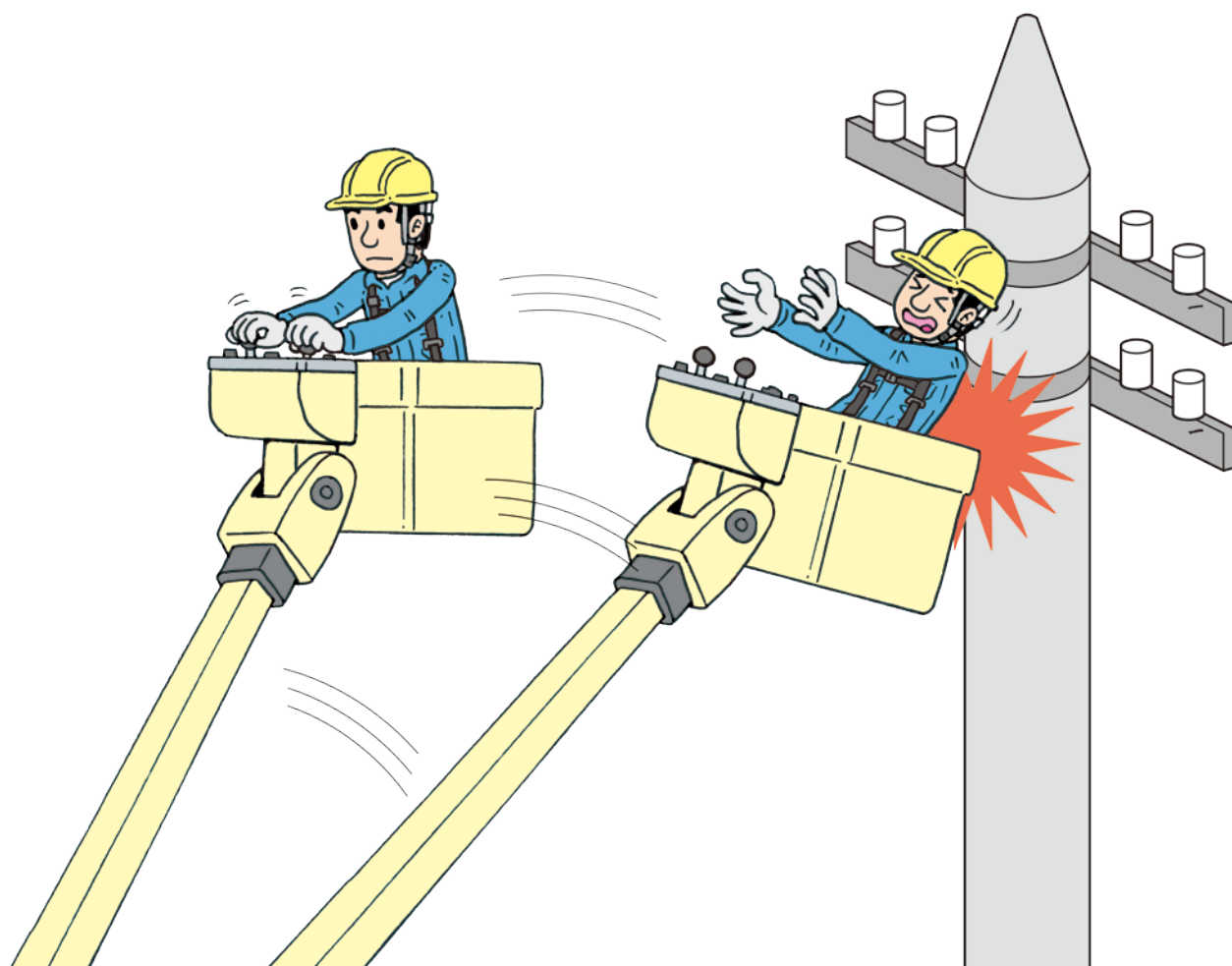
- ①路肩や水分を多く含んだ軟弱な地盤にジャッキを張って作業をする場合、荷重が多くかかったジャッキが沈んで転倒することがあるので注意してください。
- ②軟弱な地盤では、ジャッキが沈まないように適切な措置を講じてください。
- ③マンホールや側溝のふたの上に、直接ジャッキをセットしないでください。割れる危険があります。

(3) 墜落制止用器具（安全帯）の使用



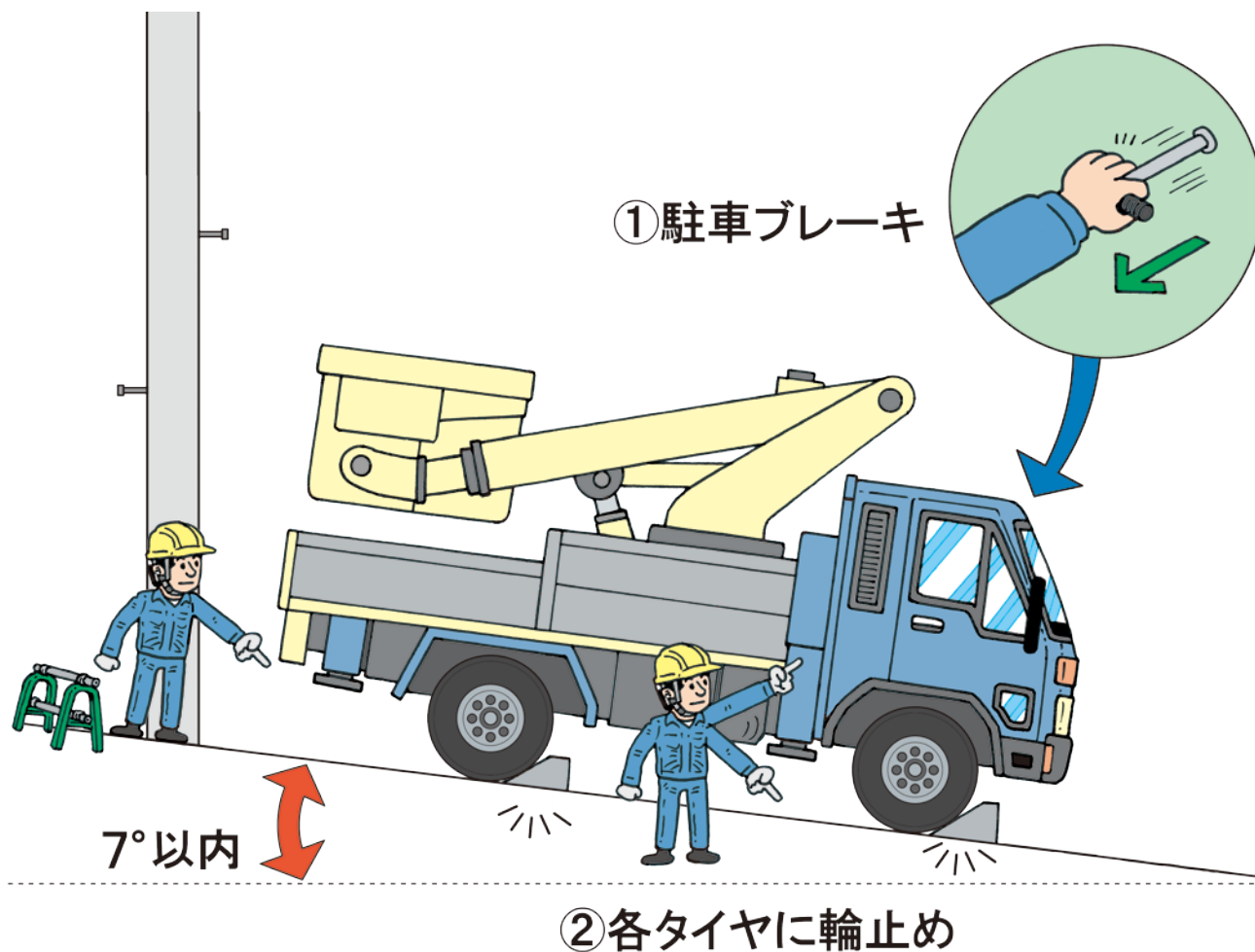
- ①バケットへの搭乗者は、墜落制止用器具を正しく身につけてください。
- ②構造規格に適合したものを使用し、変形、損傷したものは使用しないでください。
- ③搭乗したら直ちに墜落制止用器具のフックをフック掛けに確実にかけてください。

(4) 作業位置付近での注意



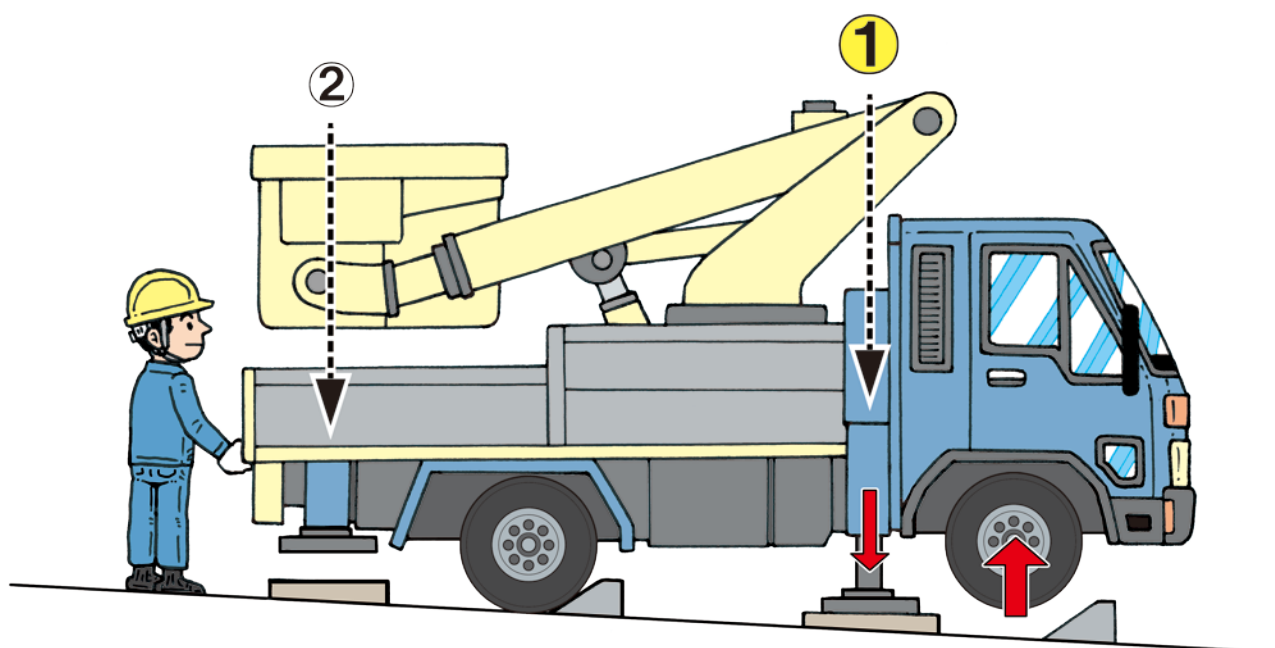
旋回・起伏操作は、ブームが伸びているほどその動きが速く、衝撃が大きくなります。作業位置付近での旋回・起伏操作は、アクセルを低速に切り換えて、レバー操作を1本ずつ行うか、伸縮または首振り操作でバケットの位置決めを行ってください。

(5) 傾斜地での位置決め



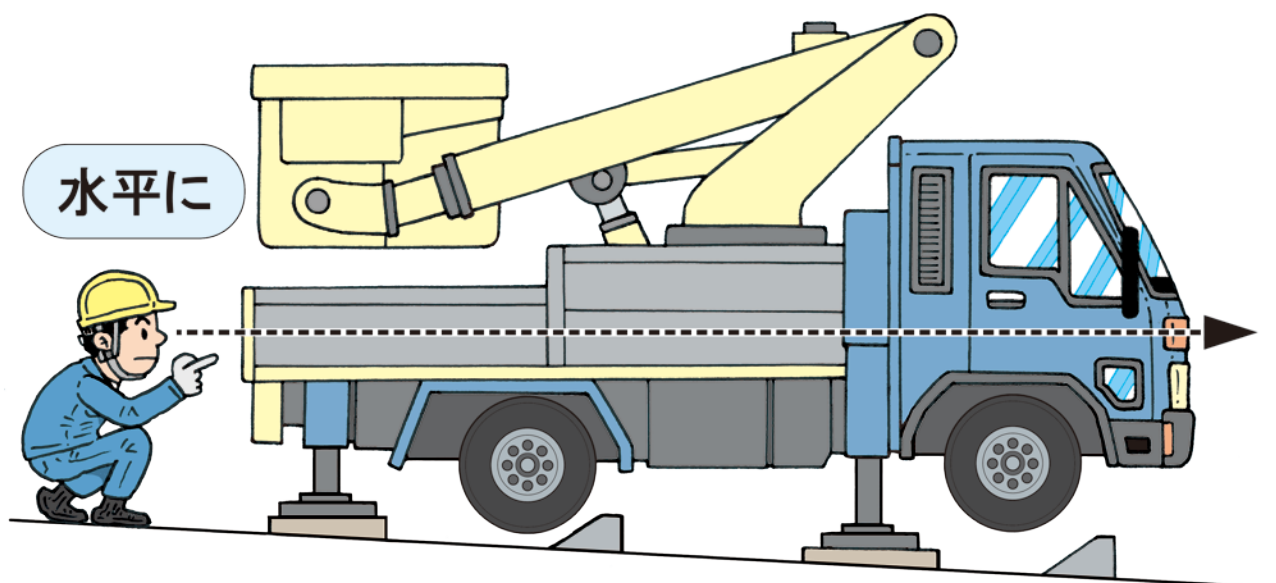
- ① 傾斜地では必ず前下がりに駐車し、駐車ブレーキを確実にかけ、フットブレーキをはずしても動かないことを確認してください。
- ② 輪止めは取っ手を持ち、全輪とも坂下側のタイヤに当たるようにセットして下さい。
- ③ 7°を越える傾斜地では高所作業車を使うことはできません。

(6) ジャッキセット



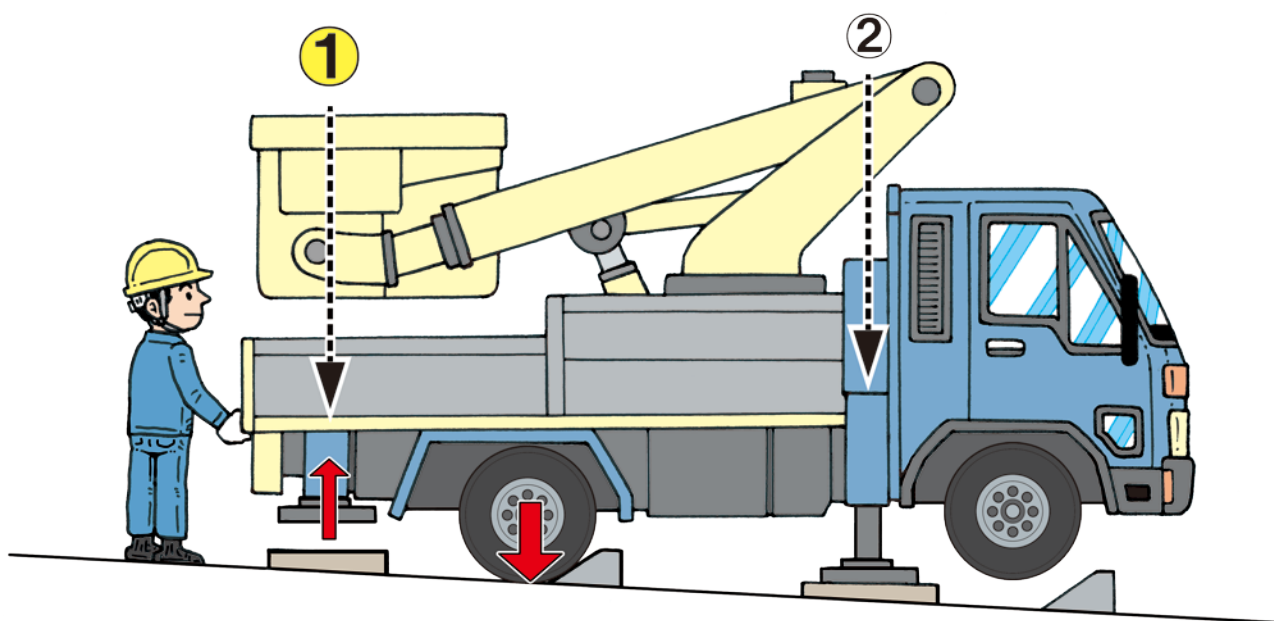
- ①アウトリガは最大に張り出してください。
- ②傾斜地では「ジャッキ自動張り出し」を絶対に使わないでください。(前後順次作動機能付き、自動水平設置機能付きのものを除く)
- ③ジャッキセットは、必ず①前ジャッキ→②後ジャッキの順で行ってください。(駐車ブレーキは後輪にかかっているため)
- ④ジャッキセットする際は、ジャッキがジャッキベースに接した時点で一旦止め、ジャッキベースがずれてないことを確認してから操作を続けてください。

(7) 車両の水平確保



- ①路面の傾斜にかかわらず、車両が水平になるようジャッキアップしてください。
- ②このとき、車両の前後方向の水平が確保できない場合は傾斜角度 3° を超えないようにしてください。(ただし左右方向は必ず水平を確保)
- ③ジャッキベースを使用して水平を確保するときは、2枚、20cm 以内を限度にしてください。
- ④4本のジャッキのいずれにも荷重がかかっていること、すべてのタイヤが地切りしていることを確認してください。

(8) ジャッキの格納



- ①作業が終了したら、ブームを完全に格納してください。
- ②ジャッキの格納は、必ず①後ジャッキ→②前ジャッキの順で行ってください。(駐車ブレーキは後輪にかかっているため)
- ③ジャッキを格納する際は、タイヤが地面に接した時点で一旦止め、輪止めがタイヤに確実にかかっていることを確認してから操作を続けてください。